

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
| | | | | | | |

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 28 年 11 月 2 日（水）
9 時 58 分 ～ 12 時 12 分
全員協議会室

(委 員) 岡本委員長、上野副委員長

岡野委員、~~野藤委員~~、芦谷委員、佐々木委員、田畑委員、江角委員

(議 長・委員外議員) 柳楽、串崎、小川、飛野、笹田、道下、牛尾昭

(総務文教委員会 所管管理職)

〔総 務 部〕 植田総務部長、前木総務課長、河上安全安心推進課長、斗光情報政策課長

〔地域政策部〕 砂川地域政策部長、宇津政策企画課長、河上まちづくり推進課長

岡田地域プロジェクト推進室長

〔財務部〕 埴財務部長、邊税務課長、土谷資産税課長

〔金城支所〕 ~~吉永支所長~~、大崎防災自治課長

〔旭 支 所〕 田村支所長、栗栖防災自治課長

〔弥栄支所〕 細川支所長

〔三隅支所〕 斎藤支所長、吉野三隅分室長

〔教育委員会〕 石本教育長、山本教育部長、岡田学力向上推進室長、山根生涯学習課長

島田中央図書館長

〔消防本部〕 ~~藤井消防長~~、佐々木消防本部総務課長

(事務局) 篠原書記 山陰中央新報社、中国新聞

議 題

1 報告事項

- (1) 海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について
- (2) 米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について
- (3) 平成 27 年国勢調査 浜田市人口等集計結果（確定値）について
- (4) シングルペアレント介護人材育成事業の進捗状況について
- (5) 浜田市内のタクシーの運行状況について
- (6) 広島電鉄高速バス「浜田駅～有福温泉区間」の廃止の申し入れに対するその後の対応状況について
- (7) 浜田城周辺整備検討会の開催状況について
- (8) 浜田市税条例等の一部改正について
- (9) 基準地価調査の結果等について
- (10) 平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果について
- (11) 施設の所管換え及び指定期間の変更について
- (12) 第 2 次浜田市子ども読書活動推進計画について
- (13) その他

2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 9 時 58 分)

岡本委員長

ただいまから総務文教調査会を開会する。出席議員は7名で定足数に達している。本日は野藤委員から欠席届が出ている。また吉永金城支所長、藤井消防長から欠席の申し出を受けているが、その代わりとして金城支所より大崎防災自治課長、消防本部から佐々木消防本部総務課長が代理で出席をされている。また安全安心推進課長から自分の報告質疑が終わった後、所用のため退席したいという申し出があるのでご承知置きいただきたい。
では会議に入る。

1. 報告事項

(1) 海上自衛隊艦艇物資補給基地誘致の要望活動について

(2) 米軍機低空飛行訓練による騒音等の状況について

岡本委員長

この2件について、安全安心推進課長。

安全安心推進課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

(1)について委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

(2)について委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの2件については終了する。安全安心推進課長の退席を許可する。

《 安全安心推進課長 退室 》

(3) 平成27年国勢調査 浜田市人口等集計結果(確定値)について

岡本委員長

この件について、情報政策課長。

情報政策課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(4) シングルペアレント介護人材育成事業の進捗状況について

岡本委員長

この件について、政策企画課長。

政策企画課長
岡本委員長
岡野委員

(以下、資料をもとに説明)

この件について委員から質疑は。岡野委員。

また第4期生を6名募集すると想定しているとのことだが、11月1日から30日までの1ヶ月間でどのように全国PRするのか。やっているのは地元では分かったとしても県外の方がどうやってそれを知るのか。6名はかなりハードルが高いのではと思う。その辺りを伺いたい。

政策企画課長

この事業は全国的に注目を集めており、応募者の動機やこの事業を何で知ったのか尋ねると、新聞という回答とWeb上で見つけたという回答が多い。最近も週に1、2件は問合せの電話やメールが入っている。また今回は東京や大阪会場で相談会を行い、来場者からその場で資料請求する方も7、8人おられた。電話やメールで問合せいただいた中にも同じように、募集を開始したら要綱を送って欲しいという方が大変多く、今回は51名にお送りすることになっているので、そう言った方々の中から応募者が出てくるのではないかと思う。

合同相談会を実施したところ、マスコミからの取材が多数あり、読売新聞の先月末の夕刊と東京新聞には掲載されたのだが、残念ながらそのいずれもこちらでは見られなかった。また近々読売新聞で特集のような形で取り上げていただくことになっており、今日も記者の方が取材に来ておられる。マスコミ等々を通してPRが図られるのではないかと思っている。

岡本委員長
芦谷委員

その他。芦谷委員。

この事業をやってみられての見直しが要ると思う。来られた方の給与面、生活面、住居の問題、子どもの教育、実際に来られた方々と意見を交わす中で掘んでいる課題等があれば伺う。

政策企画課長

研修生として来られた方に意見を伺う場も設けているが、その中で出るのはやはり、夜勤や早番・遅番の時に子どもをみてもらえる態勢の充実が挙げられている。今年度からファミリーサポートセンターで子どもさんをみていただく場合に、昨年度までも1人親の方に対しては10時間までは半額を市が補助する制度があったが、今年度からは補助対象となる時間帯を夜間にも広げていただき、また上限も夜間分の48時間を今までの10時間に加えて支

援するようにしていただいている。事業の見直しではないが、受入態勢の見直しをそのように図っている。

芦谷委員

それも含めて、これは浜田市政として社会的に弱い立場の人を支援するメッセージだと思う。従って、既に浜田市在住の1人親家庭の方々へのサービスとの均衡については検討されたのか。

政策企画課長

その点については議員からご指摘いただいている。今年6月からだったと思うが、市内在住の1人親の方に対する支援の拡充についても検討を始めている。まだ確定したものはないが、来年度から一定の拡充を図ることで検討している。詳しくは来年度の予算提案資料の中で説明出来るのではないかと考えている。

芦谷委員

未婚の母の場合の寡婦控除適用が浜田市だけない。他市並みに適用する問題と拡充と併せて、介護職だけでなく他の職種・業種にも広げることについてはどうか。

政策企画課長

ご指摘の、未婚の母への寡婦控除適用についても支援の一案として検討はしている。介護以外への拡大についても色々検討してみたが、残念ながら今回の募集にあたっては調整が出来ず、介護の中での拡充に留まった。介護以外の職場についても引き続き検討していきたい。

岡本委員長

他に。田畑委員。

田畑委員

シングルペアレントについてのこの事業は、介護人材確保と定住対策という目的で始められたと思う。先ほど浜田市人口集計にもあったように4千人弱が5年間で減少している中で、色々考え方はあるかもしれないがシングルペアレント事業も含めて今の若い方々は益田・広島へ出られる方が大変多い。市民の方からの批判は、浜田に居ても仕方ないから広島へ行く。浜田は住みにくいから益田に行く。これらが出られた方の声。

地元に住んでおられる若い方々が、そういう考えで出られている。一方では大変なお金を使ってこういう事業をされる。そのバランスがどうも……元気のある人は市外に出ていかれているのが現状だと思う。その辺について担当部署としてはどう考えているか。

政策企画課長

確かに先ほどの国勢調査の資料を見ても、人口減少が続いている状態はあり、大変な問題だと思っている。そういうこともあり

昨年度策定した総合振興計画においては産業振興や子育て支援といった課題に市役所をあげて取り組む姿勢を示している。この事業を初めてからまだ確定していないが、今年度に入ってから人口増減を見ても出生と死亡の差による自然減は続いているものの、転入・転出による社会増減については昨年度までに比べてかなり改善しており、もちろんシングルペアレント事業が全てだとは言わないが、かなり改善が進んでいる。年間通してどうなるか、さらに引き続き注視していきたい。一定の改善の兆しがある、ということは報告しておきたいと思う。

田畑委員

改善の兆しというのは部署や我々の立場、立場が違ふと考え方も違ってくる。私は現状の浜田市の人材確保、定住の事だけ考えた場合においては、何を一番先にすべきかが重要だと思う。先ほど言われたように、人口の自然減が一番の問題だと思うが、前日、議会報告会で旭の和田公民館に行くと、その地域だけで1年間に20人の自然減だ。地域によって色々あろうが、自然減だから人口を増やさねばならない、だからシングルペアレント事業やるのだというのも良いのだろうが、では若者たちがUターン出来る環境が整っているかを考えると、この費用をそういった面に注ぎ込む、投入すべきだろうと思う。元気のいい人は浜田から出ていった人が多い。それを引き留めるだけの要素が浜田にないと、いくらやっても難しいような気がするのだが。

政策企画課長

我々は飽くまでも定住施策の中で狭い意味でのU I ターンの促進といった意味でこの事業を行っている。市役所あげて、産業振興、子育て支援、福祉の拡充といった面で、全体的な人口定住に向けた施策に取り組んでいる。またこの事業の実施に当たっては国の地方創生交付金や県補助金を有効活用して、事業費自体は大きな額になるが市の持ち出しは出来るだけ少なく押さえて、事業を有効活用して取り組んでいるので、その点についてもご理解いただきたい。

岡本委員長

他に。佐々木委員。

佐々木委員

合同相談会を今回なされたそうだが、合同でやるメリット等は以前にお話があったように思うが、参加団体を見るとかなりたくさんおられる。北海道幌加内町、長野県須坂市、三重県鳥羽市、

大分県国東市、それ以外にも山形県や新潟県等一杯団体があって、合同で行うメリットもあるのだろうが、それぞれがシングルペアレントを是非呼びたいということで参加されているので、競争相手がたくさん出て来たなど。逆に言えばそういうデメリットもあるのではないかと思うのだが。要らぬ心配なのか、それとも支援メニューに違う部分があるから浜田は自信があるというお考えなのか、お考えを教えて欲しい。

政策企画課長

今回の取組みには全部で 10 団体参加された。大阪で行われた相談会の前日にはこれらの団体が一堂に会して、各団体の取組み等を紹介して経験を交流する場も設けた。他団体の取組みを見ると、浜田市のように介護人材に限定して募集されている所もあれば、職種は問わないとか保育士であるとか色々な募集方法があった。中には介護人材と重なる部分もあるが競合しない団体も多く、何よりマスコミで大きく取り上げていただいて、今までそういうの知らなかった方も参加されて全体のパイが広がる中で参加者が自分に合った自治体を見つけるという面では大きな成果があったと感じている。

佐々木委員

メリットの方が大きいという考え方なのか。

政策企画課長

はい。

岡本委員長

その他。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(5) 浜田市内のタクシーの運行状況について

(6) 広島電鉄高速バス「浜田駅～有福温泉区間」の廃止の申し入れに対するその後の対応状況について

岡本委員長

この 2 件について、まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

(1) について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

その表の中に「この間市民からの苦情問合せなし」と書いてあるが、実際運行していない時期はタクシーの台数が極端に少なく、買い物や敬老乗車券利用での病院通いが不便だという意見を聞いた。そういった市民の声はなかったのか。

まちづくり推進課長

担当課としても必ずそういうことは起こると思い準備等して

いたが、市民の方から直接苦情等が寄せられることはなかった。敬老乗車券は今後使えるのかという問合せはあった。

岡野委員

先ほどの説明の中で、今月の何日からだったか朝2時まで業務をするとのことだが、私が某タクシー会社社長から聞いた意見は、これは不平等ではないかと。このように実質的に会社が倒産している状態で営業し、かつ同じ土俵の中で戦わなければならないという。つまり浜田ハイヤーは税金や燃料代の滞納等を繰り返していながら、浜田市が敬老乗車券を各社に平等に配布して使えるような状態というのは、他のライバル会社も経営が厳しい中できちんと払うお金は払ってやっている中で、浜田ハイヤーだけ優遇措置をしていく、簡単に言うと死に体に輸血し続けるようなもの。この輸血とは税金でやっているのと同じ。そういったことが浜田市の中で、部署の中で検討されたのか。また部署内で1ヶ月後の支払期限がある中で、その間のお金の繋ぎにも苦勞しているような会社をずっと支援していくというのは、他の会社から言うと不公平であると。一番台数を持っていてそういった状況はおかしいのではと思うが、お考えについてご意見があれば伺いたい。

まちづくり推進課長

まちづくり推進課は地域住民の方の交通の利便性を図る課である。敬老乗車券についても市としてはタクシー会社や石見交通を助けるためにやっているのではなく、地域住民の方が色んな所へ行くのに助けてあげる。地域住民の側に立ってやっている事業なので。それを地域住民が使いやすい浜タクさんで使われるというのは、市の担当課としてそのやり方で今後もやっていきたいと思っている。

経営についてはまた他の部署の話になるので、その辺りは私から言うことは差し控えさせて欲しい。

岡野委員

おっしゃるとおりだと思う。そういう意見が市民の中にもあるということ。浜田市内のタクシー会社かなり数があるが他の8社からすると、この会社が一番台数を持っていて朝2時まで経営するというのは……浜タクさんが使えなければ他の会社はそれなりに経営的にも助かるわけです。ただこれをずっと生きながらえさせることが結果的にまちにとって良いことなのか。税金滞納問題もあるし燃料代も車検代も払っていないとか。悪い影響を受け

て苦勞されている会社もある。敬老乗車券を使うことで結局税金で生きながらえさせることは市民から反発があるということだけは言うておく。もし何かあれば。

まちづくり推進課長　　うちの方は交通対策になるが、産業経済等とも連携を取り合っ
て、今のご意見は情報共有して、今後努める。

岡本委員長　　他に。

（ 「なし」という声あり ）

では(6)について委員から質疑は。

（ 「なし」という声あり ）

岡本委員長　　ではこの件については終了する。

(7) 浜田城周辺整備検討会の開催状況について

岡本委員長　　この件について、地域 PRJ 推進室長。

地域 PRJ 推進室長　　（ 以下、資料をもとに説明 ）

岡本委員長　　この件について委員から質疑は。江角委員。

江角委員　　議会と集中した意見交換の日程は、だいたいいつ頃を考えてお
られるのか。貰ったスケジュール表の中では3月議会の会派代表
質問や一般質問の内容含めての意見聴取となろうかと思いき
ますが、先ほど言われた意見交換会はどの辺りで考えておられるか。

地域 PRJ 推進室長　　まだ議会側と全然協議をさせていただいていないが、担当課と
しては年内には意見交換の場を持たせていただきたいと思っ
ている。

岡本委員長　　他に。佐々木委員。

佐々木委員　　やりとりは意見交換の場でと思っているが、これまで2、3回
資料館について提案をされているが、基本的に3つの案を中心
にずっと話が進んでいる。当然これ以外の落とし所になる可能性
があると認識して良いのか。

地域 PRJ 推進室長　　飽くまでも具体的な物がなければ議論が深まらないというご
指摘を頂いて、この3案をお示しした。この3つ以外にご意見が
あればそれについても検討するべきだと思っている。

佐々木委員　　これ以外の案の場合に今後のことから考えると、いつ頃を目途
に中身を決定する予定なのか。

地域 PRJ 推進室長　　前回の議会との意見交換会の中でもお示ししたが、今の時点で

は平成 32 年度には完成させたいということでスケジュールを組んでいるので、そうなると今年度中にある程度の方針を固めたい。従って先ほど年内に開催したいと話した議会との意見交換会も、なるべく早いタイミングでさせていただき、12 月議会もあるのでやりとりやらせていただいた上で、というスケジュールになると思う。

岡本委員長

他に

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。ここで暫時休憩する。11 時 10 分まで。

[11 時 01 分 休憩]

[11 時 10 分 再開]

(8) 浜田市税条例等の一部改正について

岡本委員長

この件について、税務課長。

税務課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(9) 基準地価調査の結果等について

岡本委員長

この件について、資産税課長。

資産税課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

全体的に地価が下がっていることは認識している。それに伴って浜田市の固定資産税評価替えの時点で、どの程度税収が下がるのか、パーセントで教えて欲しい。

資産税課長

次の評価替えが平成 30 年度になる。家屋に関して言うと、家屋は土地とは違い 3 年に 1 度、3 年分一気に落とすので家屋はかなり落ちるが、それに伴い新築家屋もあるので家屋的に言うとそんなに落ちないと思う。土地が毎年、説明したように下げ止まりとはいえ地方はどんどん落ちている状況。パーセンテージで示すのも難しいが、今 37 億ある。ほとんどが償却資産による下落が多いのが現状。金額で言うと 1 億程度は落ちているのではと思

財務部長

っている。

補足をさせていただくと、ご指摘の点は非常に重要部分で中期財政計画でもその辺をパーセンテージで数字を掴むようにしている。今資産税課長が申したように家屋は3年に1度なので、通常で言う減価償却のような経年減点で、2年間動かずパッと下がってしまうので1億以上家屋評価が下がることがある。結果的に5パーセントくらいを見込んでいる。土地については余りにも下がるので、昔は3年に1度しか土地評価は下げなかったのだがそうすると納税者から大変な苦情が出るので、毎年宅地については大きく下がっている所は下げる、浜田市も下げている、それだけ土地は下がっている。土地が下がるのと人口減少はイコールになっている。土地が下がれば下がるほど人口減少も止まらない、そういう相関関係があると見ている。将来浜田市が3万いくらの人口になると、それに向けて土地評価額はもっと下がっていくということは不動産鑑定士の先生方との意見交換で話題に出ている。土地下落率も人口減少と同じように注視している。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(10) 平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

岡本委員長

この件について、学力向上推進室長。

学力向上推進室長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件について委員から質疑は。岡野委員。

岡野委員

対策についてだが、分析は充分されていると思うが通り一辺倒な対策しか書かれていない。私の甥は中学生で学年が変わったら数学が分からなくなったと言う。何故かと尋ねると先生が変わったからと言う。数学は先生による部分が多い。先生の技量向上について書かれてない。先生のスキルが低い。甥の先生は若くて新任だそうだが、スキルが低いと生徒も聞かなくなるし分からなくなると思う。先生のスキルアップについてどのように考えられているのか。

学力向上推進室長

教職員の技量アップについてはまさに学力に繋がることなの

で、新しい学びプロジェクト、協調学習等の研修会は実施済みだが、まだ推進員の方の授業公開が残っている。アクティブラーニングと学力との関係性が高いと指摘されていて、それを先ほどおっしゃるように1年生ではやったけれど2年生では行わなかったということが起きてくるのでは、小学校から中学校までを通した指導の継続にはならないので、継続性を取れるようにカリキュラムマネジメント等は校長先生におう所も大きいと思うのでその辺を呼び掛けていくようにすることと、教職員の研修について外部の大学の先生や有名な実践をしておられる先生の研修会を通して行うこと、それから県が算数授業の向上に取り組むとのことで8ヶ所の指定校を作っている。周布小学校が指定されているとのことで、特に算数数学について課題が大きいので、算数数学部会とも連携を取って、県教育委員会からも地元教員が参加して良いと言っていたので、良いものを紹介して見て体験していただき、それを校長の指導のもと全校で取り組んでいけるようにしていくことが必要だと思う。それを教育委員会として把握するためには指導主事が学校訪問する回数を増やしていくことを考えていかねばならない。その都度指導していくことも大切なので、その辺の取組みを具体的にできるようにしていきたい。

岡野委員

やはりしっかりスキルアップしていかねば、例えば同じ中学の同学年でも隣クラスと平均点が10点違うとなれば先生の方に責任があるのではないかと、生徒も親も思うので。学校先生の技量アップに力を入れることも主眼としていただきたい。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(11) 施設の所管換え及び指定期間の変更について

岡本委員長

この件について、生涯学習課長。

生涯学習課長

(以下、資料をもとに説明)

岡本委員長

この件については12月もしくは3月定例会に議案として出されるとのことだが、敢えて委員から質疑は。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(12) 第2次浜田市子ども読書活動推進計画について

| | |
|--------|---|
| 岡本委員長 | この件について、中央図書館長。 |
| 中央図書館長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 岡本委員長 | この件について委員から質疑は。岡野委員。 |
| 岡野委員 | ブックスタート事業の推進とあるが、この事業はどのようなもので浜田市はどのように現在取り組んでいるか。 |
| 中央図書館長 | お子さんの4ヶ月検診の時に保護者とお子さんが子育て支援センターに来られた際、読み聞かせボランティアが本を1冊プレゼントする事業。本に親しみを持ってもらうことを目的に始めた事業だ。 |
| 岡野委員 | 4ヶ月の子どもに本の内容が分かるのかという素朴な疑問が1つと、図書館側は読み聞かせボランティアの方にどのような支援、協力をしているのか。 |
| 中央図書館長 | ボランティアの方への支援というのは、図書館には読み聞かせ用の「おはなしの部屋」というのがあり毎週土曜10時半から行っている。その方々が来られても聞く子どもがいないと困るので、館内の子どもに声かけしたり、講師をお招きして講演会を実施して、読み聞かせの意義について認識を改めてもらったりという支援を行っている。 |
| 岡野委員 | ブックスタートの話に戻るが、絵本を1冊ずつプレゼントしているのは誰の予算で行っているのか。 |
| 中央図書館長 | これは図書館の予算ではなく、子育て支援課の予算でやらせてもらっている。 |
| 岡本委員長 | 他に。芦谷委員。 |
| 芦谷委員 | ブックスタート事業に関連して読書アドバイザーというのがあるが、その人数あるいはその動向は。 |
| 中央図書館長 | 先ほど申し上げたように子育て支援課が中心でやられているので、図書館側では人数を把握していない。 |
| 芦谷委員 | 24ページ(3)、学校司書等配置事業の推進、資料編の29ページの数値目標一覧がある。この中で学校司書または学校図書館支援員の配置率100パーセントとなっている。問題はかつて全協等と言われた、学校職員配置の表はもらったのだが、司書教諭や学校 |

司書支援員の配置の中身が問題。きちんとした正規の人を配置するスタンスがないとどうしてもその場しのぎになる。職員配置の現状と考え方、今後の方針についてあれば。

中央図書館長
教育部長

それについても私からの回答は難しい。

学校司書・支援員ということで県でも学校図書館の充実ということを進めており、浜田市においても補助金の中で支援員等を学校に配置している。県において司書教諭を全ての学校に配置する取組みが進んでおり、全ての学校に司書教諭が配置されて県でもその資格を持った教員を増やしている現状がある。県下どこの市町村もそうだが、教員は学校図書館の充実を進めており、浜田市においても学校図書館司書については非常勤ではあるが県補助金をいただき、少しずつ増やしているので充実してきている。

芦谷委員

某中学校は大変実績のある先生のOBが非常勤でやっておられて色々話を聞いて感心した。そういう成果が学力向上に繋がっていると理解した。問題は、中央図書館を中心として図書を進める先生方の情報交換、あるいはお互いに勉強しあって技量を上げる、そういった中央図書館をキーにして各図書館や支援員を繋いで、読書を進めることについて考えがあれば伺いたい。

教育部長

学校司書、司書教諭、支援員等そういった中で、教育委員会事務局の中にも学校図書館の支援センターみたいな所で嘱託職員を雇い、専門的に扱う部署を設けている。その中で研修を一斉に行ったり図書の紹介をしたり、西部図書普及センターという県の施設と連携しながら研修の充実にも取り組んでいる。

岡本委員長

他に。

(「なし」という声あり)

岡本委員長

ではこの件については終了する。

(13) その他

岡本委員長

その他。レジュメには予定されていないが、委員の机の上に2つほど資料が配布されている。追加報告ということで今朝ほど依頼があったので説明を受けたい。

浜田市地域集会施設の用途廃止について、旭支所防災自治課長。

旭防災自治課長
岡本委員長

(以下、資料をもとに説明)

報告が終わった。先ほどの報告のようにこの案件は12月定例会に上程されるとのことだが、それを踏まえて事前に聞きたいこ

| | |
|----------|---|
| | とがあれば受けたい。 |
| | (「なし」という声あり) |
| 岡本委員長 | この件の質疑は終了する。 |
| | もう 1 つ、三隅公民館作業場雨漏り改修工事の変更について、 教育委員会三隅分室長。 |
| 教委員三隅分室長 | (以下、資料をもとに説明) |
| 岡本委員長 | 委員から何かあるか。 |
| | (「なし」という声あり) |
| 岡本委員長 | この件の質疑は終了する。他に執行部からあるか。 |
| | (「ありません」という声あり) |
| 岡本委員長 | それでは、執行部からの報告事項 12 件とその他 2 件について、 全協にどのように提出するか決定するが、先に執行部の意向を伺 いたい。総務課長。 |
| 総務課長 | (1) 資料のみ (2) 資料のみ (3) 資料のみ (4) 資料のみ (5) 資料のみ (6) 資料のみ (7) 説明あり (8) 説明あり (9) 説明あり (10) 説明あり (11) 説明あり (12) 資料のみ その他 2 件 資料のみ |
| 岡本委員長 | 執行部から意向を聞いた。委員からこれについていかがか。で はこのような形でお願いしたい。 |

2. その他

| | |
|-------|----------------|
| 岡本委員長 | その他皆から何かあれば。 |
| | (「なし」という声あり) |
| 岡本委員長 | では調査会を終了する。 |

(閉 議 12 時 12 分)

浜田市議会調査会規程第 6 条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 岡本正友 ㊞